

魚津市

• 本江小学校	109
• 片貝小学校	112
• 道下小学校	115
• 経田小学校	118
• 吉島小学校	121

学校名	魚津市立本江小学校		
担当教諭	藤森 正弘 先生 井川 泉 先生	担当推進員	高縁 洸 さん
取組み期間	平成 27 年 7 月 27 日 (月) ~ 8 月 31 日 (月)	参加児童数	78 人

環境チャレンジ教室 (前編)

- 日 時 平成 27 年 6 月 11 日 (木) 13:50~14:35
 ○使用教材 自作資料 (パワーポイント)

○説明内容など

- 1 地球温暖化について
 - ・ 温暖化って何?
 - ・ 何故温暖化になるの?
 - ・ 皆の出来る温暖化防止
 - ・ お母さんへの提言
- ◆チャレンジ 10 の説明
- ◆環境大臣任命書配布

環境チャレンジ教室 (後編)

- 日 時 平成 27 年 10 月 9 日 (金) 14:40~15:25
 ○使用教材 自作資料 (パワーポイント)

○説明内容など

- 1 チャレンジ 10 集計結果報告
 - ・ 地球温暖化に付いてのおさらい (クイズ形式での質疑)
 - ・ チャレンジ 10 集計報告
 - ・ 継続的チャレンジのお願い

【環境チャレンジ教室の様子】



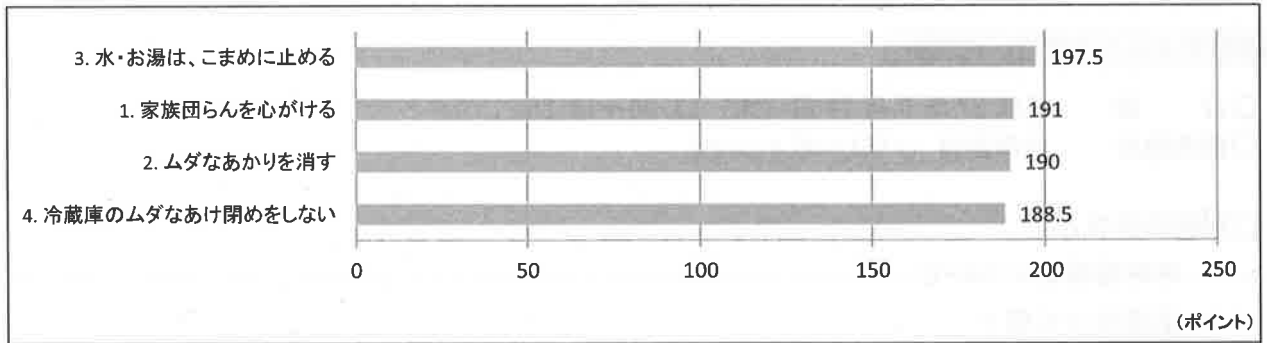
授業の感想・推進員から児童のみなさんへメッセージ

後編も父兄授業参観日に開催する事が出来たので、前後編と連続する事によって父兄にもチャレンジ 10 の意義についての理解も深めてもらえたものと思われる。

本江 小学校のみなさんへ

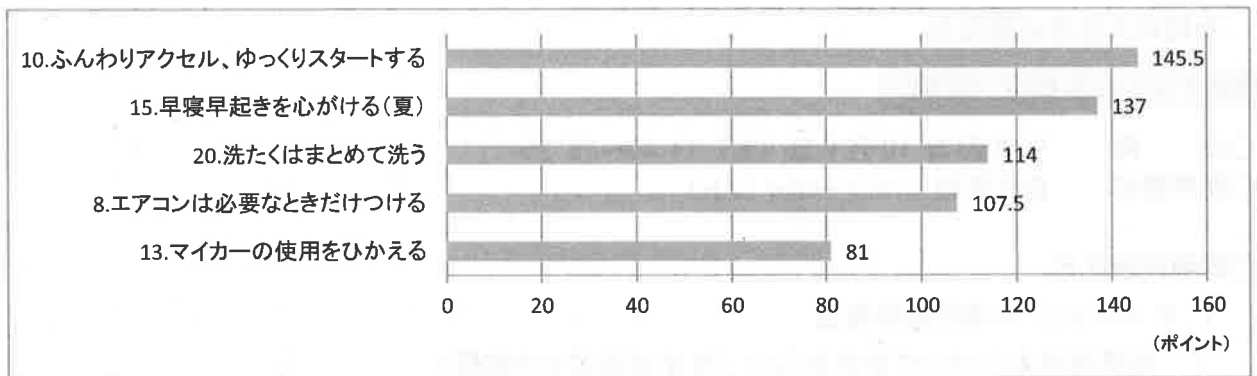
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、おしらせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 2,404 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 240,379 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 172 本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

約 141,971 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

○工夫したこと

- 家族団らんをこころがけた
- 水をこまめに止めたりした
- 出掛ける前に電気が付いてないか家族でチェックした

など

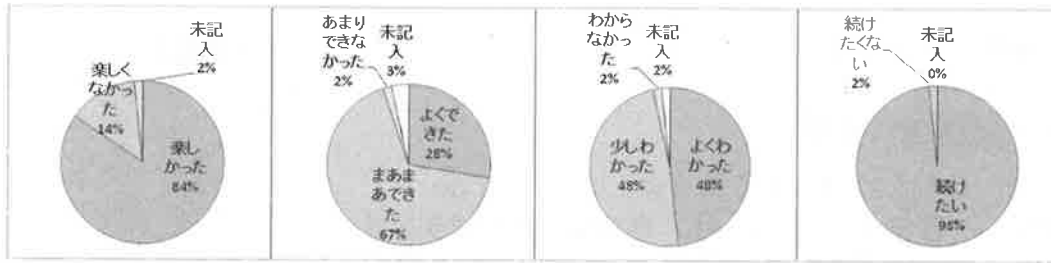
○独自のとりくみ

- 出てきたゴミはリサイクル
- 残ったお湯や水は水やりにつかう
- パソコンをする時間を減らす

など

4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？
 ④地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？
 ⑤これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

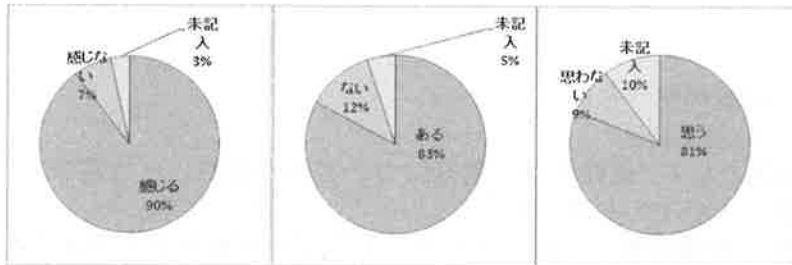


感想やがんばりたいこと

- 地球温暖化がどのようなものかを知って止められるようにしたいと思った。
- 毎日みんなに声をかけて地球を守りたい。
- もっと地球温暖化を知りたいです。
- 地球温暖化が怖いと分かりました。
- 地球温暖化でどれだけ地球の温度が暑くなるのか知りたい。
- 世界はどのように対応しているのか知りたい。
- こんなに簡単な事で地球温暖化防止にちょっとでも役に立つのだと思いました。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？
 ②習慣化した取組みがありますか？
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



感想や意見

- 負担になると嫌になるので、楽しくするように心がけた。
- エアコンの温度は今まで低かったのだけど、28℃にすると最初は暑かったが今は慣れたようです。
- 冷蔵庫の開け閉めをへらすために朝、水筒にお茶をいれて家にいる時もそれを飲むようにしていた。
- 子どもが自らどんな取組みができるか相談しにきました。自ら進んで行動に移したり考えたりと、良い経験ができたと思います。今迄どのくらいどんな所に差が出たか、数値で表すことができたならもっと良かったなあと思いました。
- 子供のうちから環境に配慮した考えを持って今後も意識していってもらえると良いです。自分の将来の環境を担っているんだという気持ちが重要だと思います。
- この取組みを4年生の時だけでなく、ずっと続けていくことができるといいなと思います。

これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！



学校名	魚津市立片貝小学校		
担当教諭	金谷 正美 先生	担当推進員	中村 康昭 さん
取組み期間	平成 27 年 6 月 15 日 (月) ~ 7 月 12 日 (日)	参加児童数	6 人

環境チャレンジ教室 (前編)

- 日 時 平成 27 年 6 月 5 日 (金) 14:00~15:30
- 使用教材 自作パワーポイント、地球儀、赤外線ランプ、
二酸化炭素の実験用：ローソク、ガラス瓶、炭酸飲料、ドライアイス、水槽、
シャボン玉セット

○説明内容など

- 1) 冊子の「家族みんなでチャレンジ」を基に、パワーポイント、地球儀と赤外線ランプを使用して説明
 - ・地球温暖化って、どういうこと?
 - ・地球温暖化が進むとどうなるの?
 - ・富山県ではどうなの?
 - ・昔と現代の生活の違い、省エネ生活の事例
 - ・わが家の環境大臣任命式 (代表者 1 名に任命証を手渡す)
- 2) チャレンジ 10 のお願い
 - ・とりくみノート (チャレンジ 10) の説明
- 3) 身近にある二酸化炭素の実験
火のついたローソクを CO₂ ガスの入った瓶の中に入れると火はなぜ消えるのか?
水槽の CO₂ の中でシャボン玉実験を行った。

環境チャレンジ教室 (後編)

- 日 時 平成 27 年 9 月 24 日 (木) 14:00~15:30
- 使用教材 青色 LED 照明、蛍光電球、白熱電球、LED 電球、手回し発電機、電動人形
三色 LED 電球

○説明内容など

- 1) パワーポイントを使用して説明：前篇のおさらい
- 2) とりくみノート (チャレンジ 10) の効果説明
- 3) 二酸化炭素を減らす為の省エネ効果として、後篇授業は電気についての内容で LED 電球・
蛍光電球・白熱電球の省エネ効果についてのお話しをした。
- 4) 身近な発電について手回し発電機で鉄道模型や人形、ラジオ、ランプを作動させて自然エ
ネルギー発電の仕組みについてお話しをした。

【環境チャレンジ教室の様子】



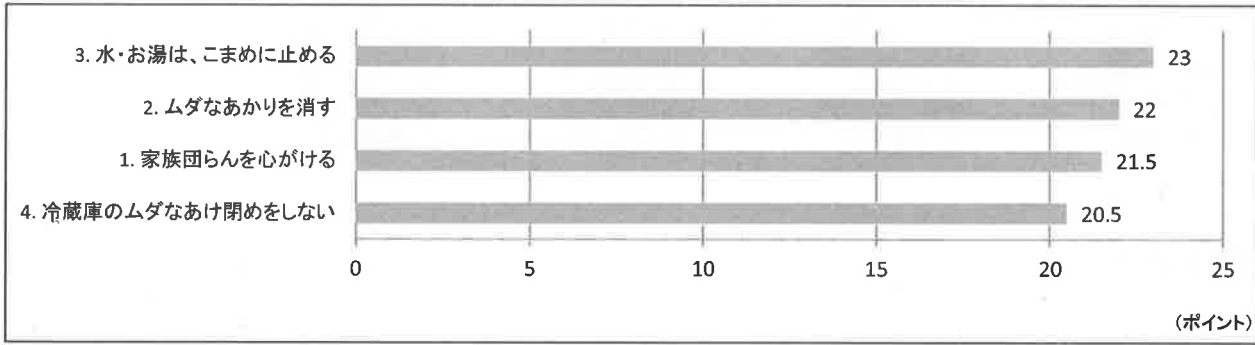
授業の感想・推進員から児童のみなさんへメッセージ

これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか?の質問にたいして「全員が続けたい」との思いでした。この大事な気持ちをいつまでも持ち続けて欲しいと願います

片貝 小学校のみなさんへ

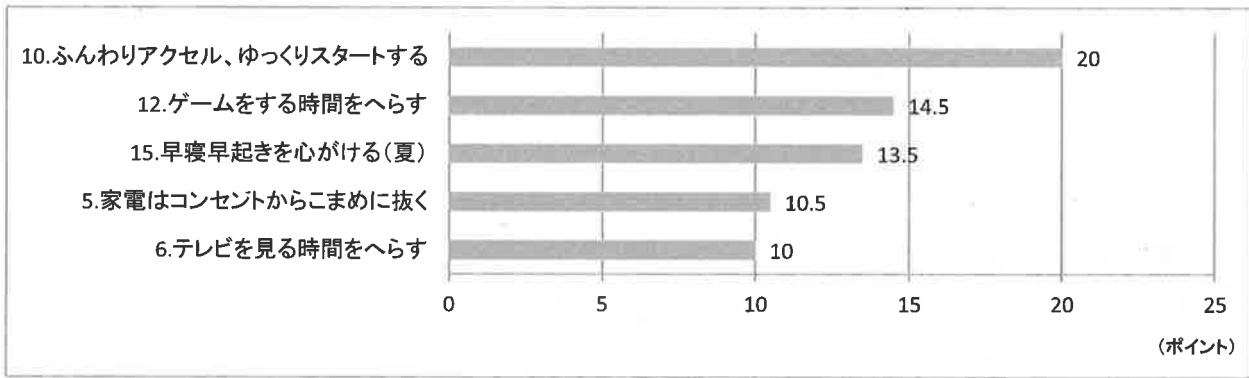
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、お知らせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 約 256 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 25,608 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 18 本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

約 15,271 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

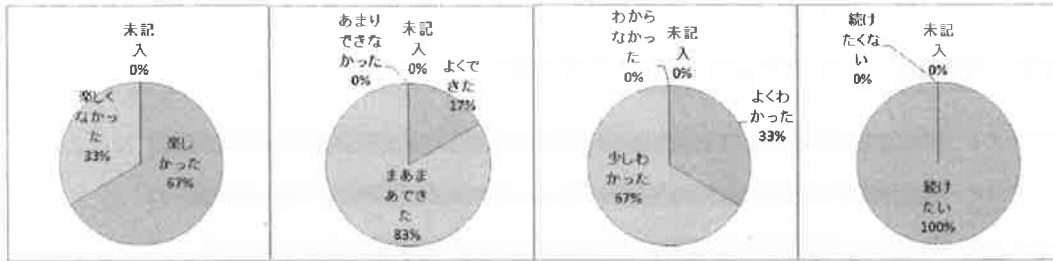
○工夫したこと

- ・使っていない電気は消した。
- ・「ママ、水もったいないよ！！」と子供からの声かけが多くあったと思う。

など

4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は、楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？
 ③地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？
 ④これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

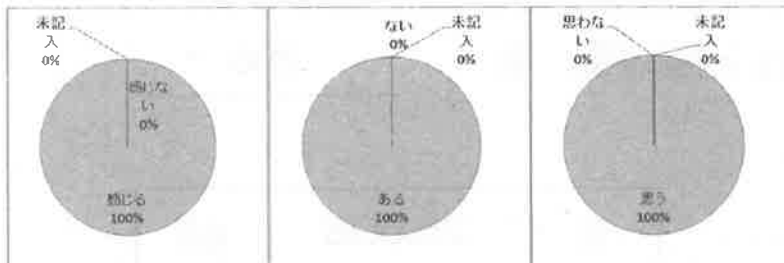


感想やがんばりたいこと

- ・コンセントをぬくことがあまりできなかった。
- ・チャレンジを前よりもすすんでできたと思う。
- ・家族団らんでいつもいたので、これからもしていきたい。
- ・これからも環境チャレンジ10でやったことを取り組みたい。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？
 ②習慣化した取り組みがありますか？
 ③チャレンジ10の取り組みにより、家計の節約になったと思いますか？



感想や意見

- ・チャレンジ10の取り組みについて、もう少し親子で話す時間があればよかった。
- ・チャレンジする取り組みを常に意識するようになった。
- ・これからは家族で省エネを心がけて生活していこうと思う。
- ・とてもいい取り組みだと思う。家族の団らんも多くなった。
- ・一ヶ月という長期間の取り組みで大変だけど、長期だから少し習慣になったりもして良かったと思う。
- ・取り組みを意識してするようにした。声かけなど。

これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！



学校名	魚津市立道下小学校		
担当教諭	杉沢 弘美 先生	担当推進員	高縁 洗 さん
取組み期間	平成 27 年 7 月 17 日 (金) ~ 8 月 31 日 (月)	参加児童数	55 人

環境チャレンジ教室 (前編)

○日 時 平成 27 年 7 月 10 日 (金) 13:55~14:40

○使用教材 自作資料 (パワーポイント)

○説明内容など

1 地球温暖化について

- ・ 温暖化って何?
- ・ 何故温暖化になるの?
- ・ 皆の出来る温暖化防止

◆チャレンジ 10 の説明

◆環境大臣任命書配布

環境チャレンジ教室 (後編)

○日 時 平成 27 年 11 月 18 日 (水) 13:55~14:40

○使用教材 自作資料 (パワーポイント)

○説明内容など

1 チャレンジ 10 集計結果報告

- ・ 地球温暖化に付いてのおさらい (クイズ形式での質疑)
- ・ チャレンジ 10 集計報告
- ・ 継続的チャレンジのお願い

【環境チャレンジ教室の様子】



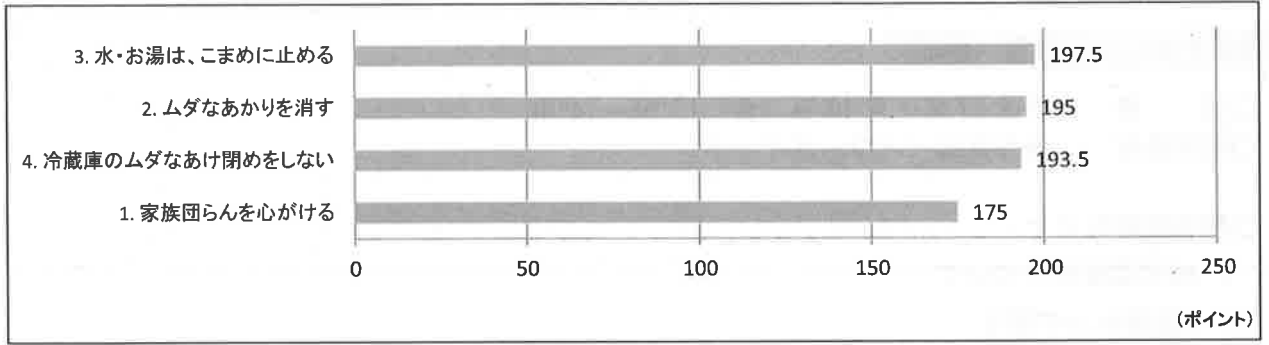
授業の感想・推進員から児童のみなさんへメッセージ

- ・ 主に質問形式を採用し、児童の発言を求める事を試みたが、想像以上に多数の児童より意見があり上々であった。
- ・ 児童との快いコミュニケーションが図られた。

道下 小学校のみなさんへ

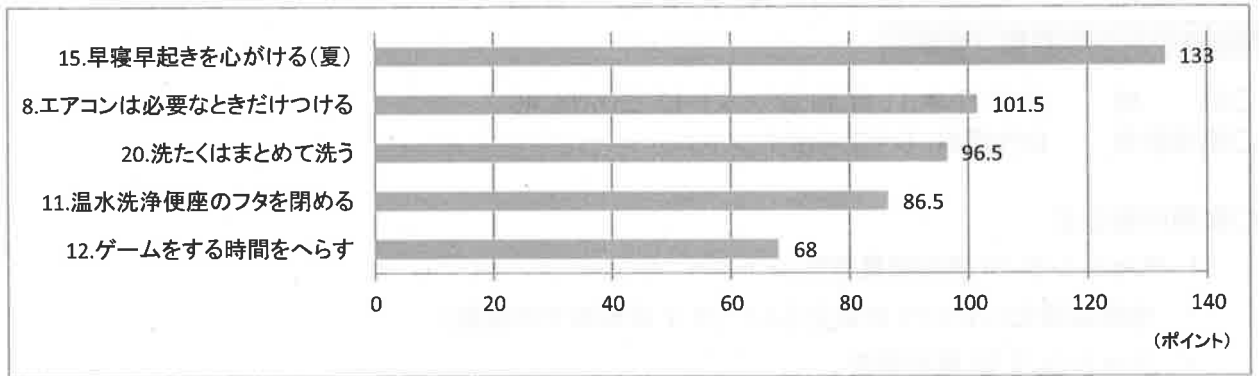
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、おしらせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 約 1,867 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 186,712 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 133 本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

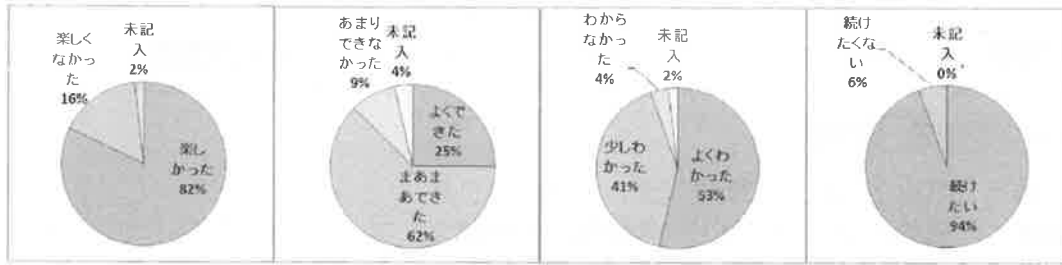
約 110,730 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

工夫したこと	独自のとりくみ
<ul style="list-style-type: none"> 家族と一緒に頑張ろうと声をかけた 宿題をするときは、テレビを消していた あまり暑くない日は、クーラーではなく窓を開けて涼しくした 	<ul style="list-style-type: none"> 植物の水やりは雨水タンクを使う わりばしは使わない よけいな買い物はしないでごみをへらす

4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、よくできましたか？
 ③4週間、地球温暖化は、どのような問題かわかりましたか？
 ④地球温暖化を止めるとりくみを続けていきま
 すか？

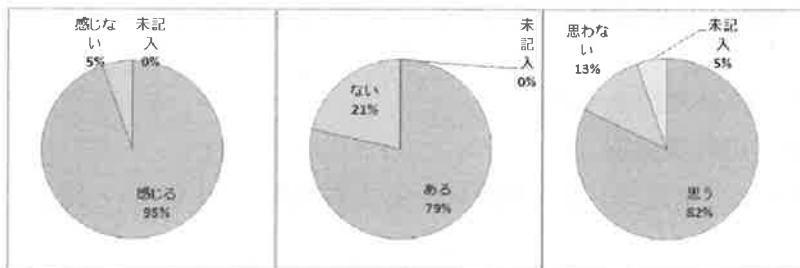


感想やがんばりたいこと

- ・チャレンジ10の項目を今後も続けたい。
- ・ゲームの時間をもっと減らしたい。
- ・地球温暖化を止めるための方法をもっと知りたい。
- ・冷蔵庫の開閉や温水便座のふたの開閉に、これからも注意していきたい。
- ・節約が楽しかった。
- ・自分たちのがんばりが、どのくらい地球温暖化防止につながったのか知りたい。
- ・「よくできた」の青シールがたくさんあってうれしかった。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？
 ②習慣化した取組みがありますか？
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



感想や意見

- ・子供と一緒に環境にやさしい取組みができてうれしく思う。継続したい。
- ・扇風機で部屋の空気を拡散させて、エアコンの温度は28℃に設定した。
- ・生活が豊かな分、地球にやさしいことを親子で心がけたい。
- ・必要のない電気を消すことにより、自然と家族が一つの部屋に集まり家族団らんの場になりました。
- ・「エコ」という言葉の意味を理解して使うようになった。
- ・子供が率先して取り組むことで、家族全員が意識して取り組むことにつながり、それが習慣化したと思う。子供に意識させることは良い事だと思う。
- ・今回だけで終わらず、日頃から取り組み、生活の中で当たり前のことにしたい。

これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！



学校名	魚津市立経田小学校		
担当教諭	湯上 裕美 先生	担当推進員	中村 康昭 さん
取組み期間	平成 27 年 6 月 29 日 (月) ~ 7 月 26 日 (日)	参加児童数	32 人

環境チャレンジ教室 (前編)

- 日 時 平成 27 年 6 月 20 日 (土) 10:40~11:25
 ○使用教材 自作パワーポイント、地球儀、赤外線ランプ
 二酸化炭素の実験用：ローソク、ガラス瓶、炭酸飲料、ドライアイス、水槽
 シャボン玉セット

○説明内容など

- 1) 冊子の「家族みんなでチャレンジ」を基に、パワーポイント、地球儀と赤外線ランプを使用して説明
 - ・地球温暖化って、どういうこと？
 - ・地球温暖化が進むとどうなるの？
 - ・富山県ではどうなの？
 - ・昔と現代の生活の違い、省エネ生活の事例
 - ・わが家の環境大臣任命式 (代表者 1 名に任命証を手渡す)
- 2) 身近にある二酸化炭素の実験
 火のついたローソクを CO₂ ガスの入った瓶の中に入れると火はなぜ消えるのか？
 水槽の CO₂ の中でシャボン玉実験を行った。

環境チャレンジ教室 (後編)

- 日 時 平成 27 年 10 月 27 日 (火) 9:20~10:05
 ○使用教材 青色 LED 照明、蛍光電球、白熱電球、LED 電球、三色 LED 電球
 ○説明内容など

- 1) パワーポイントを使用して説明：前篇のおさらい
- 2) とりくみノート (チャレンジ 10) の結果説明
- 3) 後篇授業は電気についての内容で LED 電球・蛍光電球等の省エネ効果についてのお話しをした。

【環境チャレンジ教室の様子】



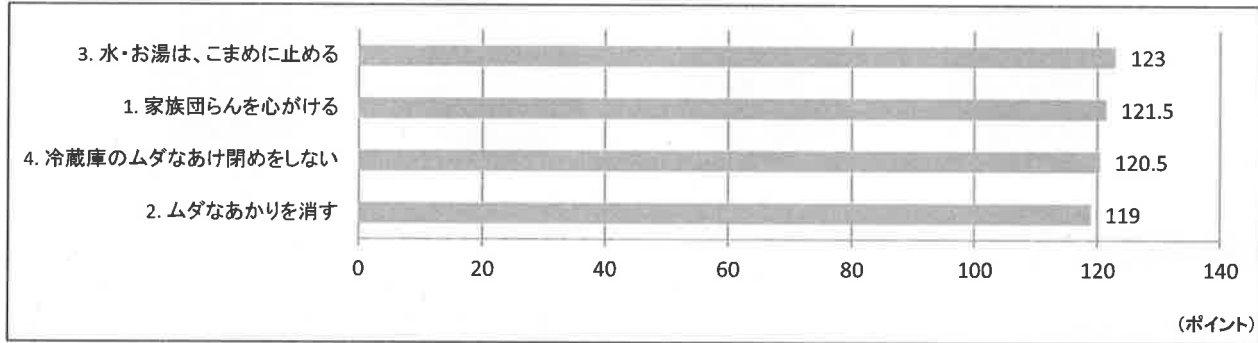
授業の感想・推進員から児童のみなさんへメッセージ

- ・児童一人一人からこれからもずっとエコを続けてゆきたいとの意気込みと授業に対してのお礼の手紙を頂きました。
- ・小さな事でもいいですから継続してエコ活動を実践して行くことが大事なのです。お願いします。

経田 小学校のみなさんへ

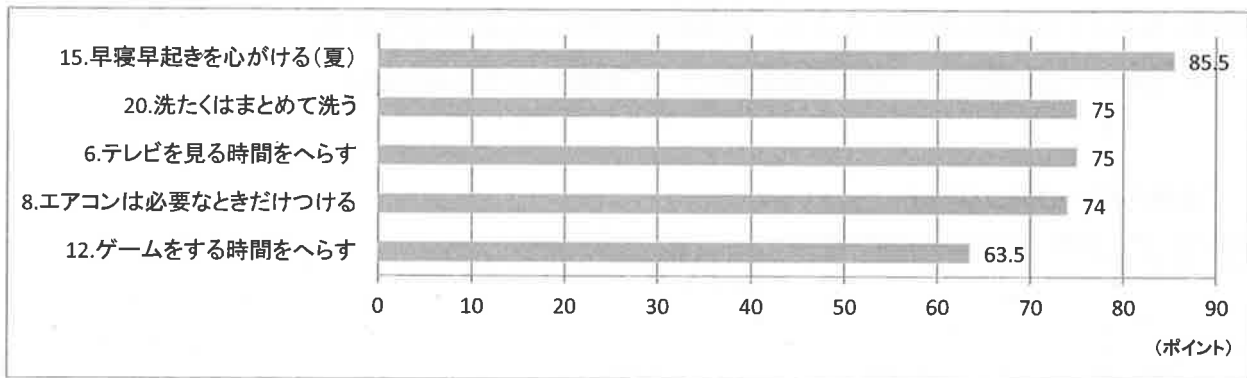
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、おしらせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 約 1,224 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 122,405 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 87 本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

約 72,639 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

○工夫したこと

- ・歯をみがく時は全員が水をとめた。
- ・水を出しっぱなしにしないようにした。
- ・部屋を出る時に、部屋の電気を消すように声をかけあったこと。

○独自のとりくみ

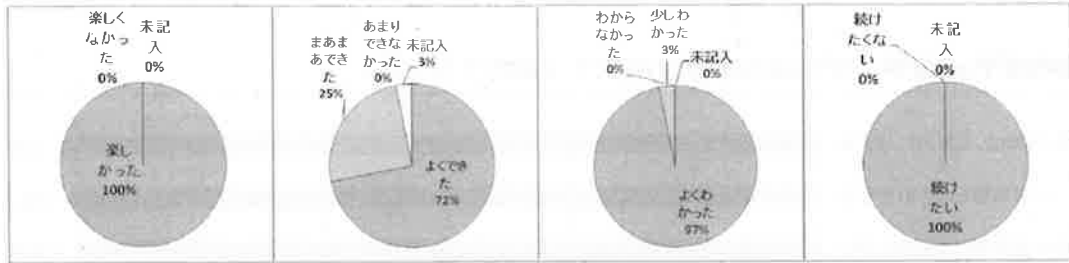
- ・天気のいい日は外で遊ぶ
- ・グリーンカーテンを育てる
- ・ティッシュをムダに使わない

など

など

4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は、楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、よくできましたか？
 ③4週間、少しわかったか？
 ④地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？
 ⑤これからも地球温暖化を止めるとりくみをつづけていきますか？

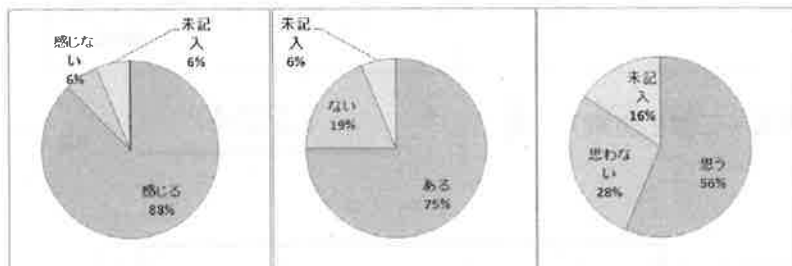


感想やがんばりたいこと

- 地球温暖化が危険だとわかった。もっと知りたいことは、この後どうなるのか。
- 地球温暖化を止めるために、もっともっと色々なことに取り組んでがんばりたいです。
- 地球が病気にならないようがんばりたいです。
- これからは、とやま環境チャレンジ10でやった10個の取組みをずっと続けていきたいです。
- 熱中症になる人もだんだん増えていくから、地球温暖化にならないようがんばる。
- 石炭や石油をたくさん使わず、二酸化炭素を減らすことを意識してがんばりたい。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？
 ②習慣化した取組みがありますか？
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



感想や意見

- これをきっかけに、とりくみノートが終っても意識をもって行動してほしいと思います。
- 家族みんなで同じ取組みをすることで、気づいた人が声かけをするようにしていた。
- 子供が一番がんばって取り組んでいた。厳しくて閉口した事もあったが、良い意識だと思おう。
- 1人だけでなく、家族中で取組む必要性を感じた。意識せずともできるようになりたい。
- 10の取組みの紙を自立つところに貼って、意識しやすいようにした。地球環境を守るという取組みを一人一人が意識できれば大きな力になると感じる事ができたと思おう。
- 「家族団らんをこころがける」というのが1番目にあるのがとても良いと思います。お互いに注意し合って協力して取り組みます。

これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！



学校名	魚津市立吉島小学校		
担当教諭	泉 知津子 先生 岡本 宏一 先生 柳澤 三由紀 先生	担当推進員	松井 龍二 さん
取組み期間	平成 27 年 6 月 22 日 (月) ~ 8 月 30 日 (日)	参加児童数	97 人

環境チャレンジ教室（前編）

○日 時 平成 27 年 6 月 16 日 (火) 13:55~14:40

○使用教材 自作パワーポイント、地球儀バルーン、写真パネル（白熊、つらら、大雪）

○説明内容など

自作パワーポイントを基に

1. 地球温暖化ってどんなこと？
2. どんないことがおきているか？
3. 私たちにできること！
4. チャレンジ 10 の取組み説明

質問とクイズで児童と会話を織り交ぜ授業を進める。

写真パネル、地球儀バルーンを掲げ注意を喚起！

我が家の環境大臣任命証を各クラス代表に手渡しする

環境チャレンジ教室（後編）

○日 時 平成 27 年 10 月 8 日 (木) 9:25~10:20

○使用教材 自作パワーポイント、3種電球消費電力比較セット、電球エネルギー比較実験器
風車でLED点灯

○説明内容など

自作パワーポイントを基に

1. 地球温暖化前期授業の復習
2. 今年の魚津の気温、気象変化
3. チャレンジ 10 の取り組み結果

質問とクイズで児童と会話織り交ぜ授業を進める。

実験教材で電球種の負荷の違いを全員で体験

- ・ワットアワーメーター、手回し発電で負荷違いを目で体感する。
- ・風力発電し蓄電でミニカーを走らせる。

【環境チャレンジ教室の様子】



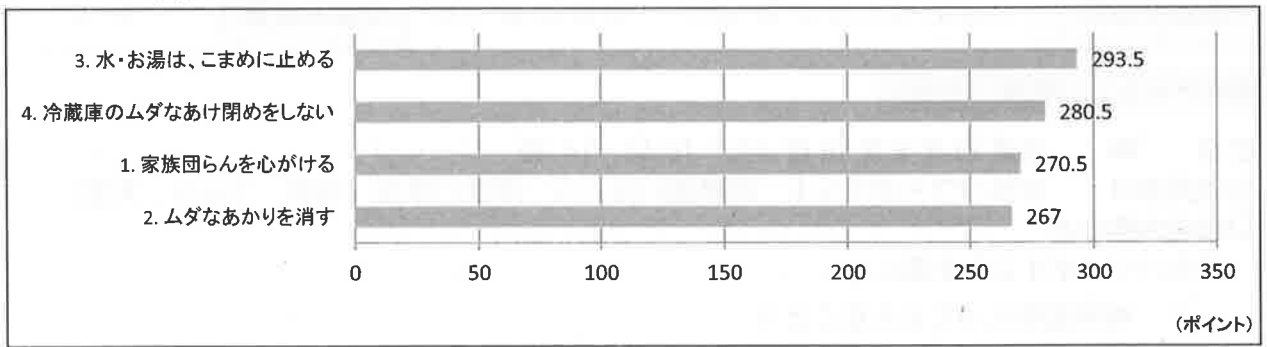
授業の感想・推進員から児童のみなさんへメッセージ

一人一人の力は小さいけど、集まると大きな成果になることを知り、学んだことを一つからでも続けることを期待すると伝える。

吉島 小学校のみなさんへ

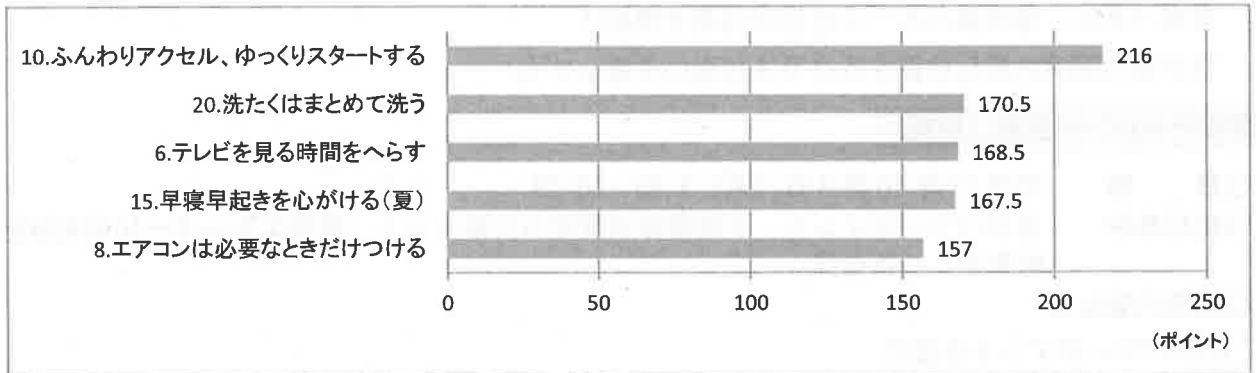
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、おしらせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 約 3,163 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 316,292 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 226 本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

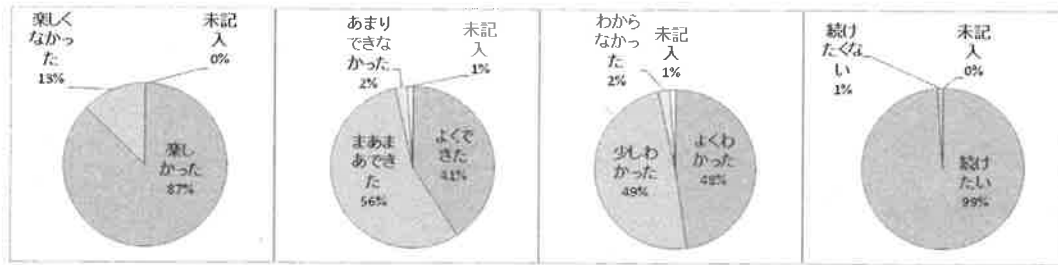
約 189,312 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

工夫したこと	独自のとりくみ
<ul style="list-style-type: none"> 買い物に行く時エコバックを持って行った 声をかけ合って取り組んだ テレビを見る時間を減らして読書をするようになった エアコンを使わずにうちわを使う など 	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨きをする時に水を止める ペットボトルではなく水筒を持っていく ゴミを分別する 食材をむだにしない など

4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？
 ④地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？
 ⑤これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

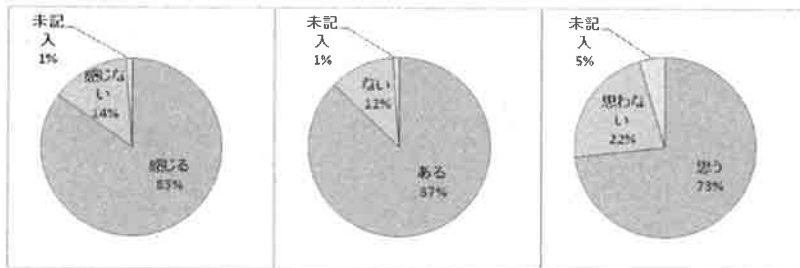


感想やがんばりたいこと

- もっと温暖化を知って、もっと気をつけたら良いことなど調べて気をつけていきたい。
- 二酸化炭素はどれくらい止めなきゃいけないのか？
- もっと地球温暖化が進んだらどうなるのか？
- これからは地球温暖化を止められるように取組みを続けて、まだやっていない事にもチャレンジしたい。
- 最後の4週目の目当ては全部青だったのでうれしかったです。全部青だと思いしました。
- このチャレンジをして、地球温暖化にならないようにする気持ちが高まった。
- ゲームは短くなったけどテレビを見すぎたのでがんばりたい。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？
 ②習慣化した取組みがありますか？
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



感想や意見

- 今回の活動を通じて家族一丸となって協力し合う喜びを感じることができました。
- 「洗濯はまとめて洗って」「ふんわりアクセル」と言われるようになり、改めて地球温暖化防止に対する意識が高まりました。
- 太陽光発電を取り入れている関係で、その時その時の電気使用量が一目でわかるため、電気関係の節約は特に子供たちも楽しんで出来たように思います。
- オゾン層の破壊等、テレビで知ってました。子供と一緒に電気をこまめに消したり必要な時だけ必要なだけのエネルギーを使ったりする事で、自然と子供とのコミュニケーションがとれるようになります。町でエコカーテンを見かけたりしても話がはずむし、エコに対して意識がすごく高くなる。良い取組みだったと思います。子供と心も繋がります。エコで繋がる心と心、素敵です。
- みんなで声をかけ合って取り組むことができました。

これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！

